

人と暮らし
環境に優しい
福祉社会の実現

ふくい

労福協

改装第55号
2012年3月21日発行
発行 福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
編集 機関紙編集委員会
発行人 吉田哲夫

2012年度～2013年度活動方針

I. 中央労福協との協力・協働の取組み

中部労福協第41回定期総会が2012年2月16日、伊勢ン
ティホテルに於いて開催されました。
2011年度活動報告では、2011年2月、代表者会議
で確認した活動方針を基に取り組みしてきた経過を分野ごと
に報告を行い、第1・2号議案の活動経過報告及び会計決算
報告が確認されました。続いて第3号議案の活動方針(案に
ついては、社会的連帯を深める運動と政策の実現や暮らしの
総合支援事業等の着実な取組みにより、具体的な活動を実践
していくことを確認し、第4号予算(案)とともに承認されま
した。その後、役員改選を行い2012年度～2013年度
の新役員が承認され、定期総会は終了しました。以下、活動報
告及び今後2年間の活動方針の概要と新役員は次の通りです。

2011年度活動報告(要旨)

2011年度活動報告(要旨)
中部労福協前回総会(2010年2月開催)の活動方針と
2011年2月の代表者会議で決定された活動方針の補強を
基に、全体会議や幹事会等で議論し活動を進めました。
具体的な活動として、①貧困や多重債務のない社会に向
けて、最低生活保障と社会的セーフティネットの充実の一環と
して、セーフティネット貸付に対する公的保証の創設に向け
た取組みと貸金業法の改正の成果を確実なものとするため
各府県毎の多重債務対策協議会と連携をとりながら、多重債
務被害をなくす運動を行いました。②労福協の重要な役割の
一つである労働運動と労働者福祉団体との調整機能をベス
に、労働金庫(北陸・東海・近畿各ブロック単位で活動)、
全労済(各府県で活動、中日本事業本部を窓口とする連携に
ついては継続課題)、その他事業団体(各府県の実情に合わ
せた取組)の活動を中央・全国の動きとも歩調を合わせつつ、
中部地域全体として実効性のある支援活動を行いました。③
各府県生協連やNPO団体と連携を深めながら、食の安全や
子育て支援・介護などの福祉増進の取り組み及び温暖化対策
として「温暖化防止に向けた国民運動」や「ライフスタイル
を見直す環境会議」に参加するなど地球環境保護の取組みを
行いました。

2012年度～2013年度活動方針

II. 事業団体の活動支援・基盤強化の取組み

事業団体の活動支援・基盤強化会議の充実
(1) 労働金庫とは、北陸・東海・近畿各ブロック単位
を基本とした活動を進めます。
(2) 全労済とは中日本事業本部を窓口とする連携を強
めます。

中央労福協と協力・協働して活動方針の実現のため、幹
事会などで議論を進めながら活動に参加していきます。
(社会的連帯を深める運動と政策の実現)
1. 東日本大震災からの復興・再生に向けて
(1) 生活再建、復興・再生に向けた活動と政策改善
(2) 防災・減災の取組み
2. 貧困や多重債務のない社会に向けて
(1) 最低生活保障と社会的セーフティネットの充実
(2) 多重債務対策
(3) 自殺対策
(4) 司法修習生の給費制存続、奨学金問題
3. 消費者運動との連携の促進
(1) 3.4兆円の悪質商法被害の根絶に向けた国民世論の
喚起
(2) 消費者行政・相談体制の充実強化
(3) 労働運動と消費者運動との連携の促進
4. 連帯経済の促進に向けた政策の実現
(1) 協同組合憲章の制定
(2) 生活協正に向けて
(3) 協同労働の協同組合法の早期制定
(4) 労働者福祉、協同組合に関する政策決定プロセス
運営の参画
(暮らしの総合支援(ライフサポート))
(1) 暮らしの総合支援事業の体制作りと着実な前進
(2) パーソナルサポート・サービス
(3) 就労・自立支援、仕事おこし
(4) フードバンク活動の普及、促進
(協同事業・労働者福祉運動・基盤強化)
(1) 2012年国際協同組合年の取組み
(2) 協同事業団体の利用促進・支援の取組み
(3) 労働者福祉運動を担う人材の育成・教育活動
(4) 新公益法人制度への対応

くらしなんでも相談会 開催 結果報告

2011年度下期の「くらしなんでも相談」は2012年2月11日より下記日程の通り実施いた
しました。これは、労福協主体で連合福井や福祉事業団体(労金・全労済・県民生協・労
信協)から協力を得て、年2回行うもので、各地域(福井市除く)、同時期に順次、出張相
談窓口を開催しています。弁護士(労福協の顧問)との法律相談が無料であるため、毎回、
多くの方が相談に来られます。今回の相談総数は37件で、前回とほぼ同数となりました。

月 日	時 間	地 域	相談件数・内容
2012年2月11日(土)	10:00～13:00	敦賀市	3 件 相続・失業・土地境界線等
2012年2月12日(日)	9:00～12:00	越前市	10 件 相続(複数)・隣地問題・投資問題・ 倒産被害・住宅問題・親の資産問題等
2012年2月12日(日)	13:00～16:00	鯖江市	3 件 健康問題・貸金請求・損害賠償
2012年2月18日(土)	9:00～12:00	大野市	3 件 労災事故・再就職・教育費
2012年2月18日(土)	13:00～16:00	勝山市	4 件 土地売買・交通違反・地境等
2012年2月19日(日)	9:00～12:00	坂井市	4 件 家庭問題(2件)・土地・就職関係
2012年2月19日(日)	13:00～16:00	あわら市	3 件 交通事故・マンション更新料・ 賃貸契約解除
2012年2月25日(土)	9:00～12:00	小浜市	7 件 不動産・特別恩給・借金・残業・ 高齢生活等

III. 生協連・NPOとの連携による
食の安全・地域福祉の取組み
各府県生協連やNPO団体と単協と
が連携して進める取組み課題について、
情報交換や活動交流等の支援を進めま
す。

IV. 政策制度要求実現に向けた自治
体要請
自治体への要請活動については、各
府県の実情に応じた政策・制度の要求
と実現に向けた取組みを推進します。

2012年度～2013年度 新役員 (三役・事務局)

役職名	氏 名	出身単協
会 長 (新任)	川口 清一	大阪労福協 会長
副 会 長 (新任)	清水 泰幸	岐阜県労福協 事務局長
副 会 長 (新任)	吉田 哲夫	福井県労福協 副会長
事務局長 (新任)	平田 茂徳	大阪労福協 専務理事

2012 国際協同組合年

「協同組合がよりよい社会を築きます」

ハーツ志比口は『おいしさと健康』『すべての人
にやさしいお店』『すべての人にやさしいお店』をコンセプトに組合
員のみなさんと地域のみなさんに愛され
るお店を目指しています。

県立病院のすぐ北側にオープンする
ハーツ志比口は、これまでのハーツの
中でも最大規模の売り場面積のお店に
なります。この広い売り場を新鮮な地
場の魚や野菜、さつま自然牛やさくら
豚など産直のお肉、出来立てのお惣菜
など、毎日の食卓に欠かせない商品で
いっぱいにして組合員みなさんの来店
をお待ちしています。

ハーツ志比口は単に食品スーパーと
しての位置付けだけではなく、ハーツ
を核に地域で子育て支援や買物支援、
リサイクルや防災の拠点などコミュニ
ティーの場としてさまざまな役割を果
たしていきたいと考えています。

地域と組合員とのつながりを大切にします

ハーツ志比口

3月24日(土) グランドオープン
(福井市志比口2丁目)

県民せいきよう
ハーツ志比口

「おいしさと健康」「環境にやさしいお店」「すべての人にやさしいお店」

ハーツ志比口は
地域のみなさんの
暮らしを応援します

3月24日(土)
OPEN!

ハーツ志比口
福井市志比口2丁目11番13号
TEL(0776)52-2282

ありがとう
40th

組合員様限定！
ユニオントラベル福井

実施期間 2012. 3/12～7/20
4/28～5/5は除きます

1日3室限定

厳選
素材

特別
価格！

宿 泊プラン
40周年
スペシャルプライス！
¥7,900！

※1泊2食付4名1室利用 サービス料、税金込。入湯税別。 3名1室@¥9,900/2名1室@¥11,900・土曜・休前日は除きます。
ユニオントラベル福井
TEL0776-21-2312
FAX0776-26-3982
社団法人福井県勤労者旅行センター 福井県福井市問屋町1-35 ☎918-8231

全労済からのお知らせ

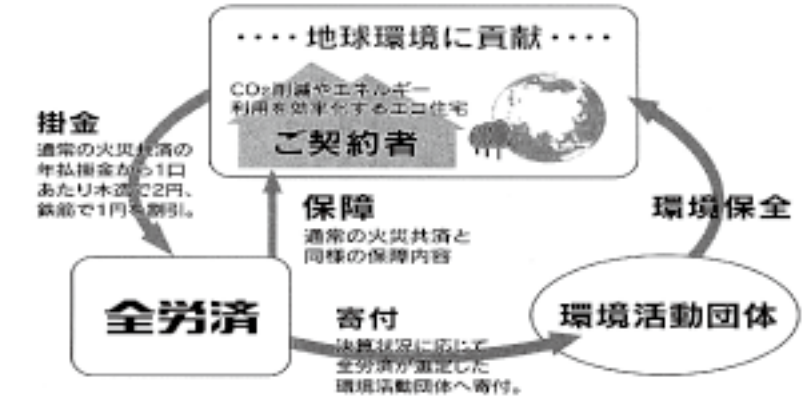
■「社会貢献付エコ住宅専用火災共済」の契約実績にもとづき、 「公益社団法人 国土緑化推進機構」に1,100万円を寄付しました。

全労済では、「社会貢献付エコ住宅専用火災共済」の2011年5月末の契約実績にもとづき、「公益社団法人 国土緑化推進機構」の実施する「緑の募金」使途限定募金～東日本大震災復興事業～へ寄付することを決定し、2011年12月9日(金)に全労済会館におきまして、1,100万円を贈呈いたしました。

この「緑の募金」では、大きな被害を受けている被災地の復旧・復興に向けて、地域の防災林の森林整備や居住地域周辺や学校周辺の緑化等の被災地域復興事業が実施される予定です。

「社会貢献付エコ住宅専用火災共済」のしくみと特徴

全労済の「社会貢献付エコ住宅専用火災共済」はオール電化住宅などのエコ住宅専用の保障プランとして、地球環境にやさしいエコ住宅に居住しながら、住宅の保障とともに環境に貢献することができる、社会に役立つ生活協同組合らしい共済商品として、2008年1月より取り扱っています。



寄付対象団体

公益社団法人 国土緑化推進機構「緑の募金」
使途限定募金 ～東日本大震災復興事業～

「緑の募金」使途限定募金 東日本大震災復興事業の概要

- (1) 海岸防災林等の森林整備
- (2) 地域周辺や学校周辺の緑化
- (3) 避難所や仮設住宅などの被災者向けの間伐材等による「組手仕」等の寄贈

1. 全労済指定の「エコ設備」が設置されている住宅にお住まいの方がご加入いただけます。

CO₂削減やエネルギーの効率利用を意識している、全労済指定のエコ設備を備えた住宅専用の共済です。

2. 掛金が割引になります。

1口あたりの年払掛金が割引になります。(お支払いは年払いのみ)

※火災等に対する保障内容は通常の「火災共済」と同じです。

3. 環境活動団体に寄付します。

毎年の決算状況に応じて全労済が選定した環境活動団体へ寄付します。(加入時に寄付することについての同意が必要となります。)

福井労福協
50周年
記念研修会

国際協同組合年にあたって

中央労福協大塚事務局長と県民生協竹生理事長から講演を受ける

福井労福協は50周年を記念して、3月6日あわら市(美松)において、連合福井はじめ北陸労金、全労済福井、福井県民生協など8団体より58名の参加者を集めて「研修会」を開催しました。

研修会の中心テーマは、「2012年は国際協同組合年」(2009年の国連総会で決議)として、2講師より講演を行いました。

最初の講演は中央労福協事務局長、大塚敏夫氏を講師として招いて「労働者福祉運動と国際協同組合年」のテーマで講演を行いました。講演では、労働者福祉運動と2020年ビジョンについて①連帯(協同)経済の領域拡大②人と人とのつながり・絆が大切にされる社会③貧困や社会的排除を許さず、参加が保障される社会④労働を中心に様々な社会サービスをつなぐ支援型福祉⑤環境に優しい持続可能な社会などを掲げ、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現を目指している。「国際協同組合年」については、1995年ICA大会で「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」を採択したことが、2009年国連での決議(国際協同組合年=2012年)に意義を持つこととなった。今年一年を通して、協同組合が果たす重要な社会的役割と価値を広く認識させるとともに協同組合を一層発展させることを目的としており、国内では協同組合宣言の採択や政府への要請、イベントなどの諸活動を計画している。これからの労福協活動の中に活かしていく必要があるとの内容でした。

労福協馬場会長のあいさつ

ICA(国際協同組合連盟) 声明

協同組合の定義「協同組合は共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である」。*この声明では定義の他、価値・原則(7つの原則)を定めている。



中央労福協
大塚事務局長



福井県民生協
竹生理事長

続いて、福井県民生協理事長 竹生正人氏の講師で「県民生協の事業活動と社会的役割の発揮」というテーマで講演を行いました。講演では、沿革・事業状況の報告のあと、当生協の基本理念(理想的な姿)は、組合員の満足と地域社会のために「食と福祉の助け合い」の事業と活動のネットワークによるシナジー効果を発揮し、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員の協力の力で高い志を持って挑戦し続けることである。その理念に沿って無店舗を土台に店舗、福祉(介護・子育て支援)等の各事業が連携し、組合員に深くお役立ちすることでコア組合員づくり、生涯組合員づくりをめざし、事業ネットワークによる組合員の満足度を最大限追求していきます。

社会的役割では、①地域とのネットワークを広げ、地域の暮らしを支える社会的インフラとしての役割②社会的組織として地域の問題解決や持続可能な社会づくりのために行政や他の団体と連携していく③買物弱者支援(過疎地域や高齢者対応の移動店舗=ハーツ便)、夕食宅配(炊事困難な高齢者)を行っている。地域福祉の推進としては、高齢者支援サービス(居宅支援・通所・訪問・在宅介護)、子育て支援サービス(全国の生協では始めて事業化=子育て支援センター、一時預かり、プレ保育事業)など行政からの支援を得ながら社会貢献活動を実践しているとの内容でした。

気合&一体感の団体競技

第22回勤労者綱引フェスティバル開催

一般男子の部 優勝 福井黒龍チーム

2012年1月22日(日)福井市南体育館において、福井県労働者福祉協議会、福井市・福井市綱引連盟の共催で、福井勤労者綱引き大会が開催されました。(県内20チーム参加)

試合は一般男子、一般女子、混合、交流の各部ごとに競技を行い、各チームとも合図・号令をかけながら、一気に綱を引くまたは持久力戦に持ち込み、力いっぱい綱を引き合っていました。各部の入賞チームは次の通りです。

■入賞チーム

	一般男子の部	一般女子の部	混合の部	交流の部
優 勝	福井黒龍	ファンキーガールズ	Pure シグナルズ	アイシン AW 労組
準 優 勝	元 三	Pure・Women 順化	宮ボンと6人の小人	UIゼンセン
第 3 位	匠 友	—	Pure TSK	連合福井



各地域で「労働問題基礎講座」を開催(報告)

「労働者のための基礎講座」として、労福協と連合の各地域協議会主催の「労働問題基礎講座」は表の内容通り、各地域5箇所で開催し、多くの方々に参加していただきました。

【開催状況】

月 日	場 所	タ イ ト ル	講 師	参加数
2月9日	敦賀市福祉総合センター 「あいあいプラザ」	「クレサラ問題について」	司法書士 大谷弥生氏	53名
2月14日	坂井市 「いねす」	「知っておきたい労働法の基礎知識 - 会社にちょっと待ったというために -」	土蔵コンサルタント事務所 勝見秀樹氏	56名
2月15日	小浜市勤労福祉会館	「労働問題・クレサラ問題について」	弁護士 上原千可子氏	46名
2月15日	福井市 「ユニオンプラザ福井」	「知っておきたい労働法の基礎知識 - 会社にちょっと待ったというために -」	土蔵コンサルタント事務所	85名
2月17日	勝山市 「勝山ニューホテル」		勝見秀樹氏	48名
計				288名